

三菱自動車工業株式会社

証券コード：7211

株主通信

平成30年度(2018年度)上半期のご報告

2018年4月1日～2018年9月30日



**MITSUBISHI
MOTORS**

Drive your Ambition

CEOからのごあいさつ



業績回復を着実に軌道に乗せ、
利益ある持続的成長のための
基盤づくりを続けます。

取締役会長(代表取締役)CEO

益子 修

このたびの前会長逮捕により、株主の皆様にご迷惑とご心配をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。前会長は、提携先である日産自動車の信認を失っていること、また、当社での職責に応じた業務遂行が困難になったと考えられることから、11月26日の取締役会において同氏の代表取締役及び取締役会長からの解職を全会一致で決議いたしました。

上半期までの業績につきましては、6月以降、自然災害による生産・出荷への影響はあったものの、おかげさまで計画に沿って概ね順調に推移し、中間配当につきましても、期初公表通り、一株当たり10円にて実施致しました。

改めて、ガバナンスを一層強化し、透明性を向上させると同時に、今年度の業績目標を着実に達成することが、今の当社にとって最も重要なことと考え、日々の経営に取り組んで参ります。

決算概況

2018年度上半期の振り返り

2018年度上半期の売上高は好調なグローバル販売を背景に前年同期比23.4%増加の1兆1,693億円となりました。営業利益は売上高の増加に資材費等コスト低減の効果なども加わり前年同期の442億円から569億円に増加し、営業利益率は4.9%となりました。親会社株主に帰属する当期純利益(以下、当期純利益)は、519億円となりました。

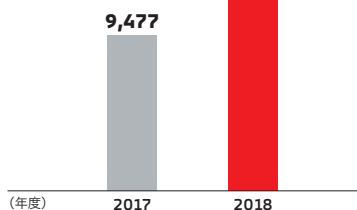
2018年度上半期のグローバル販売台数は594千台となり、前年同期から19%増加しました。

アセアン地域では、インドネシアの次世代クロスオーバーMPV『エクспанダー』や、タイを中心とし

たピックアップトラック『トライトン』の販売がそれぞれ好調で、前年同期比36%増の152千台となりました。また、インドネシアでの生産能力増強に伴い、『エクспанダー』の輸出を拡大しています。中国他地域では、現地生産の『アウトランダー』の販売が好調で、前年同期比19%増の82千台となりました。なお、11月より中国にて現地生産した『エクリプス クロス』の販売を開始いたしました。欧州地域では、西欧他地域で『エクリプス クロス』が、ロシア他地域で現地生産の『アウトランダー』が好調で、前年同期比29%増の112千台となりました。

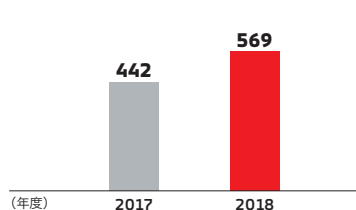
◆ 売上高(上半期)

(億円)



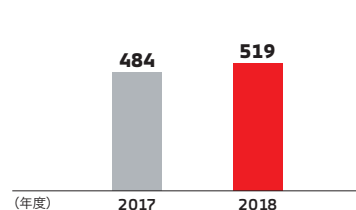
◆ 営業利益(上半期)

(億円)



◆ 当期純利益(上半期)

(億円)



2018年度連結業績見直し

2018年度連結業績見直しは右記の通りで、当社が5月に公表した内容と変更ありません。

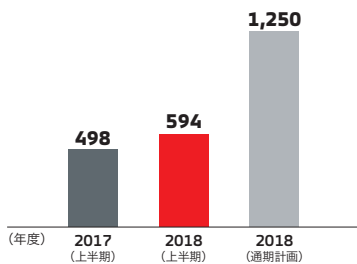
通期見直し(4月～3月)

(億円)	2017年度 (実績)	2018年度 (見直し)	前年度比
売上高	21,924	24,000	+2,076
営業利益 (営業利益率)	982 (4.5%)	1,100 (4.6%)	+118 (+0.1P.P.)
経常利益	1,101	1,250	+149
当期純利益	1,076	1,100	+24
販売台数(千台)	1,101	1,250	+149

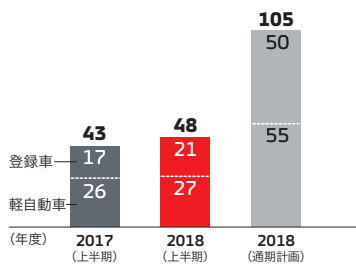
販売台数(小売)

(千台)

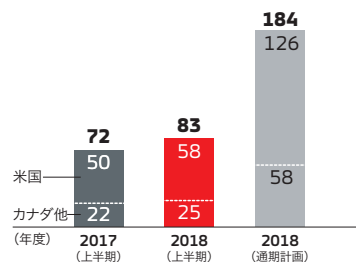
◆ 合計



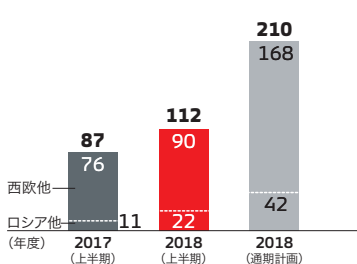
◆ 日本



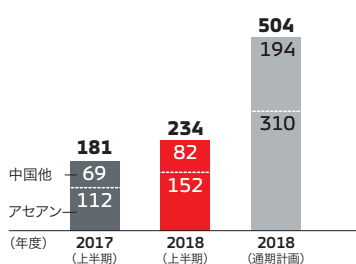
◆ 北米



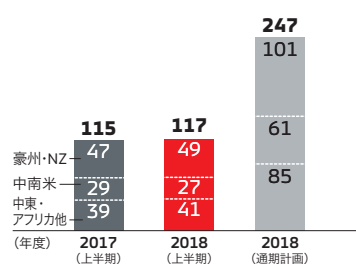
◆ 欧州*



◆ アジア*



◆ その他*



* 2018年度よりアセアンと欧州の一部国を「その他」に地域区分を変更。それに合わせ、2017年度実績数値も同様に変更。

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約・保証するものではありません。

Information

新型『トライトン』／『L200』を11月よりタイで販売開始
世界戦略車として約150カ国に順次展開

新型『トライトン』／『L200』は、「究極のスポーツ・ユーティリティ・トラック」というコンセプトと歴代モデルの開発思想である“Engineered Beyond Tough”のもと、新世代の「ダイナミックシールド」フロントデザインコンセプトを採用した力強いデザイン、オフロードでの走破性を向上させた4WDシステム、先進の予防安全・運転支援技術の採用など、大幅に商品力を高め、ビジネスユースにおける耐久性・信頼性に加え、プライベートユースにおける快適性や乗り心地に一層磨きをかけました。



プラグインハイブリッドEV『アウトランダーPHEV』を大幅改良
PHEVシステムを進化させて8月より販売開始

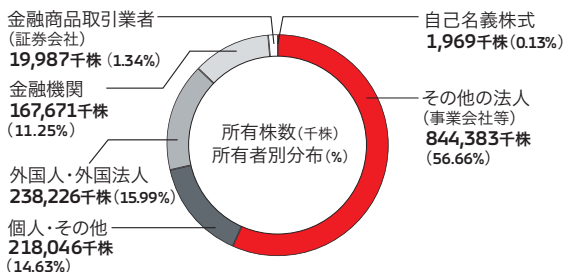
今回の大幅改良では、プラグインハイブリッドEV (PHEV) システムの主要構成部品のうち約9割のコンポーネントを改良し、PHEVシステムを大幅にアップデートしました。それにより、モーター駆動ならではの滑らかでパワフルな加速や高い静粛性を一層向上させ、『アウトランダーPHEV』のユニークな特長である“EVらしさ”を際立たせました。また、ツインモーター4WDによる車両運動統合制御システム「S-AWC」(SUPER ALL WHEEL CONTROL)に新たに2つのドライブモード(「SNOW」モード、「SPORT」モード)を追加し、より安心して楽しい走りを可能にしました。



株式情報 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,575,000,000株
発行済株式総数	1,490,282,496株
株主数	256,463名

所有者別株式分布状況 (2018年9月30日現在)



株式手続きのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	毎年6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
その他の基準日	上記の他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
公告の方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは東京都内において発行する日本経済新聞に掲載して行います。 (公告掲載アドレス) https://www.mitsubishi-motors.com/jp/investors/stockinfo/koukoku.html

「配当金の口座受取制度」のご案内

配当金を銀行等の預金口座へ入金するお手続きをしていただきますと、配当金支払開始日に株主様のご指定の口座に振り込まれ、安全・確実に配当金をお受取いただくことができます。配当金を「配当金領収証」でお受取の株主様はこの機会にご検討ください。

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。速やかにお取引の証券会社等へお届出ください。

〈上記お手続き、その他各種お手続きご連絡先〉

- 証券会社等の口座をご利用の場合→お取引の証券会社にお問い合わせください
- 「特別口座」に記録されている場合→三菱UFJ信託銀行 (Tel: 0120-232-711) にお問い合わせください

大株主 (2018年9月30日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日産自動車株式会社	506,620	34.03
MAI株式会社	160,329	10.77
三菱商事株式会社	137,682	9.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	36,862	2.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	31,756	2.13
三菱重工業株式会社	21,572	1.44
BNYMSANV AS AGENT / CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1	15,103	1.01
JP MORGAN CHASE BANK 385632	15,028	1.00
株式会社三菱UFJ銀行	14,877	0.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	14,428	0.96

(注) 上記の持株比率は、自己株式 (1,969,401株) を控除して計算しております。

1単元の株式数	100株
証券コード	7211
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先・電話照会先	〒137-8081新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel: 0120-232-711(フリーダイヤル)

会社の概要 (2018年9月30日現在)

社名	三菱自動車工業株式会社
本社	〒108-8410 東京都港区芝五丁目33番8号 Tel: 03-3456-1111(大代表) 〒108-8410 東京都港区芝浦三丁目1番21号(2019年1月に本社新オフィス移転予定)
設立	1970年4月22日
従業員数	連結：31,527名 単独：14,120名
資本金	284,382百万円

役員 (2018年9月30日現在)

取締役

取締役会長(代表取締役)	カルロス ゴーン ^{※1}
取締役(代表取締役)CEO	益子 修 ^{※1}
取締役(社外取締役)	宮永 俊一 ^{※2}
取締役(社外取締役)	小林 健 ^{※2}
取締役(社外取締役)	川口 均 ^{※2}
取締役(社外取締役)	軽部 博 ^{※2}
取締役(社外取締役)	江上 節子 ^{※2}
取締役(社外取締役)	幸田 真音 ^{※2}

※1. 11月26日開催の取締役会において、カルロス ゴーン氏を当社代表取締役及び取締役会長から解職することを決議いたしました。また、代表取締役CEOの益子修が、暫定的に次回当社株主総会までの間、取締役会長に就くことを併せて決議しております。

※2. 取締役 宮永俊一氏、小林健氏、川口均氏、軽部博氏、江上節子氏、および幸田真音氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

監査役

監査役(常勤)	白地 浩三
監査役(常勤)	中村 義和
監査役(社外監査役)	永易 克典 [※]
監査役(社外監査役)	竹岡 八重子 [※]
監査役(社外監査役)	大庭 四志次 [※]

※ 監査役 永易克典氏、竹岡八重子氏、および大庭四志次氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。



**MITSUBISHI
MOTORS**

Drive your Ambition

株主通信

三菱自動車工業株式会社 平成30年度(2018年度)上半期のご報告
2018年12月発行

〒108-8410 東京都港区芝五丁目33番8号

Tel : 03-3456-1111(大代表) <https://www.mitsubishi-motors.com/jp/>